

## 【生活支援】

認知症の人と家族の  
生活や生き方を支える  
社会資源の理解と自律性の保障

1

【平成26年3月版】

## 本日の内容

テーマ：認知症の人と家族の生活や生き方を支える社会資源の理解と自律性の保障

- 認知症の人本人に合わせた適切なケアマネジメント・環境調整の視点と各職種の間わり
- 地域で支える視点を持ち、本人の生活全体・人生全体を意識した間わり及び社会資源
- 家族支援と各職種の間わり

## ○自分や家族が 「認知症では？」と思ったら…

○家族が問題を抱え込んだり、地域で孤立しないように「ここに相談できる」「相談してよかった」といえる身近な相談先が、わかりやすく存在することが必要

## ◎相談支援機関(1)

	名称	主な担当業務
福祉・ 介護、 権利擁護	地域包括支援センター	介護予防、介護保険(※1)、 高齢者虐待対応、成年後見(※2)
	在宅介護支援センター	在宅介護支援
	中核地域生活支援センター	福祉の総合相談
	福祉ふれあいプラザ	介護ところの相談、住宅改修相談、 福祉用具相談
	市町村介護保険・高齢福祉担当課	介護保険、認知症支援事業
	市町村福祉事務所(福祉課)	生活保護
	市町村障害福祉担当課	障害者総合支援法
	市町村社会福祉協議会	日常生活自立支援事業(※3) ボランティア育成、地域支え合い活動の 推進
	県、市町村消費者センター	消費者被害等の防止(※4)

※1 給付対象サービスとして、居宅サービス、地域密着型サービス、施設サービス

※2 意思決定が困難な人が不利益を受けないように後見人等が援助する制度

※3 判断能力が不十分な者の金銭管理および福祉サービスの利用援助等を行う

※4 商品・サービス・契約トラブルなどについての消費生活や個人情報の保護に関する相談を受け付け、  
解決のための助言を行う

## ◎相談支援機関(2)

	名称	主な担当業務
保健	精神保健福祉センター・保健所	精神保健福祉相談
	市町村保健センター	健康相談、健康診査等
医療	認知症疾患医療センター	専門医療相談、鑑別診断、合併症への対応等
	認知症サポート医／かかりつけ医認知症対応力向上研修修了者	認知症医療
	もの忘れ外来(認知症外来)	認知症医療
家族・介護経験者等の団体	(公社)認知症の人と家族の会	家族交流会、会報の発行、講演会、街頭啓発活動等
全般	ちば認知症相談コールセンター	介護の悩みなど、認知症全般の相談

Chapter. 1

認知症の人本人に合わせた適切なケア  
アマネジメント・環境調整の視点と  
各職種に関わり

## 認知症高齢者の特性

- 記憶障害の進行と感情等の残存
- 不安・焦燥感⇒行動障害の引き金
- 環境適応能力の低下  
(環境変化に脆弱)

# 生活全体を視野にいれて支援する

○生活の継続性を重視

○高齢者のペースやなじみのある人間  
関係を大切に

○本人の持てる力を活かす



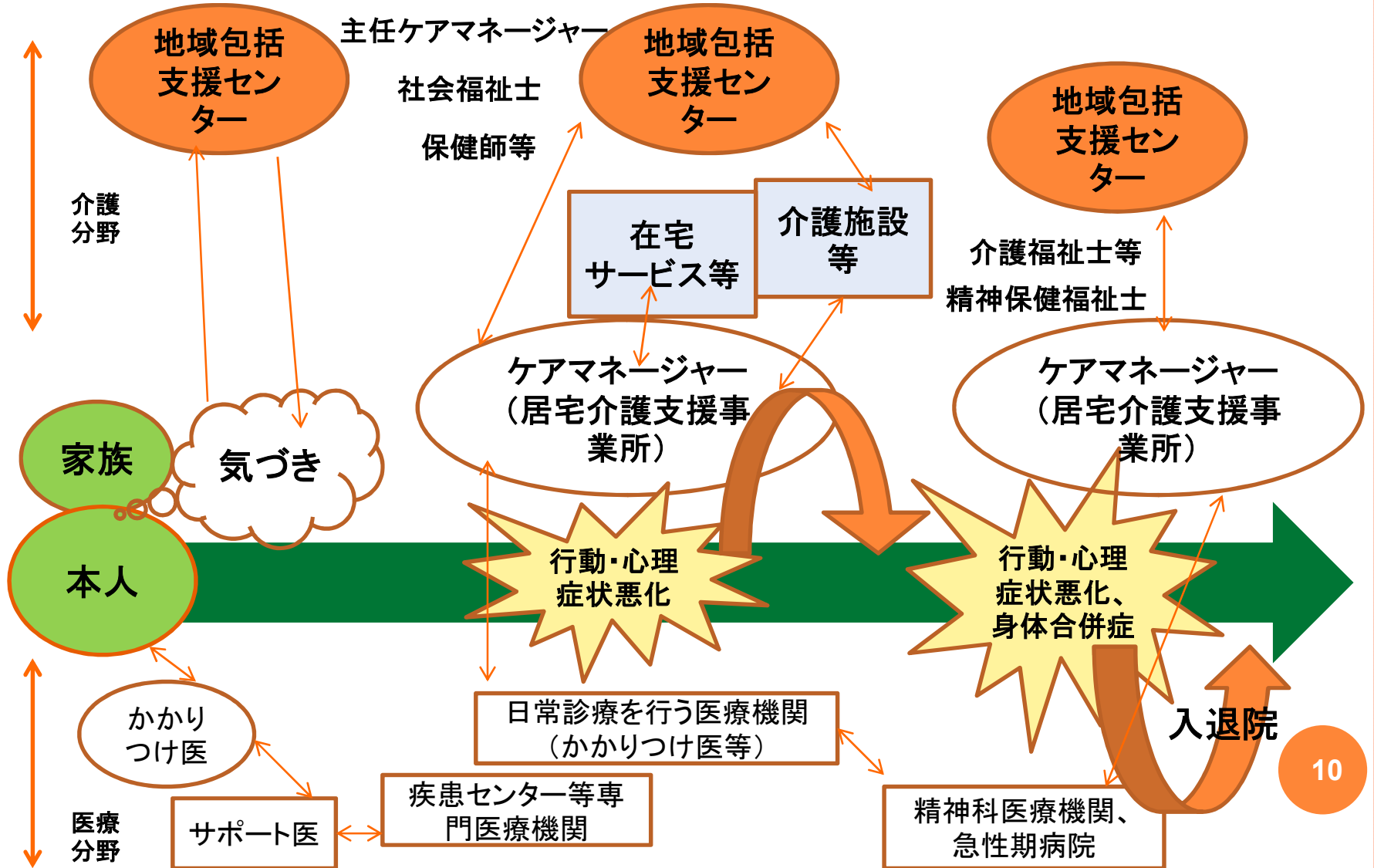
# 日常生活圏域を基本に

なじみのある安定的な人間関係と  
住み慣れた地域での生活の継続



小規模・多機能ケア  
地域に開かれた施設  
在宅医療システム

# 各専門職のかかわり



# 地域包括支援センター

地域住民の心身の健康の維持、生活の安定のために必要な援助を行うことにより、保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目的に設置された機関

○運営主体 市町村又は市町村から委託された法人

○事業内容

- ・介護予防ケアマネジメント事業
- ・総合相談・支援事業
- ・権利擁護事業（虐待防止・早期発見等）
- ・包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

# 認知症の人のケアマネジメント

認知症の人のケアマネジメントは一部のケアスタッフだけでは成り立たない

- ・本人を中心とした、なじみの人の発掘とチームの結成
- ・これからの認知症ケアの理念と視点の共有
- ・ケアマネジメントに関する本人の声の重視、当事者参画の促進
- ・ケアスタッフの声の重視、参画の促進

## 関わる支援者とのチーム作り

- ・利用者本位の基本的な考え方と視点を共有する
- ・各職種は、本人の行動・心理症状の変化に合わせて支援する視点を持ち、少しでも良い状況に繋がるよう環境調整に努める

# コミュニケーション

認知症の人とのコミュニケーションは、関わりの土台となる。

そして多職種協働を推進する大切なスキルである。

Chapter. **2**

地域で支える視点を持ち、  
認知症の人本人の生活全体、人生全  
体を意識した関わり及び社会資源

## ◎認知症の人にとってどのような支援が必要か

### ○これまでの認知症における相談機関の存在

- ・相談担当の職員が認知症の特性や相談状況を理解できず適切に対応できない場面がみられる。
- ・総合的、継続的に関わる支援者が十分でない。
- ・各機関や専門職ごとに研修の機会も異なり、地域において専門性や役割を十分に発揮することが難しい。

### ○地域における認知症の人と家族の困難

- ・家族が問題を抱え込み地域で孤立しがちである
- ・認知症の人は介護保険サービスを利用する以外には地域の中で出かける場所が少ない。
- ・一人暮らしの高齢者や高齢者夫婦世帯の増加



○各相談機関が適切な相談対応ができることや、必要な場合には地域の資源をコーディネートする役割意識を持つ

（「オリエンテーション」時の認知症ケアパス図 参照）

○各機関が連携し、相談窓口から途切れずに専門医やサービスに結びつくためのルートを明確にする

（「医療との関係」時、かかりつけ医等が参画した地域における認知症高齢者支援体制図参照）

○関係者の合同研修会

・新しい情報及び困難事例の対応や連携のあり方などについて、分野を超えた各相談機関の関係者らが一堂に会し学ぶことのできる研修会を合同で開催していく。

## ◎認知症の人の生活全体・人生全体を意識した関わり

### ○住み慣れた地域に協力を促す

#### ①地域資源マップの作成・活用

- ・地域資源マップとは、認知症の人と家族等が活用すると便利な、様々な地域資源を掲載した情報集。区市町村だけでなく、介護サービス事業者などの民間団体等、誰でも作成の担い手になることができる。
- ・地域資源マップは作成・配布・活用の各段階で顔の見える関係づくりに役立つ。また、そのネットワークは、他の支援策においても機能することが期待される。

（東京都福祉保健局「認知症の人と家族を支える地域づくりの手引書」より）

#### ②個別の生活支援マップの作成

- ・認知症の人と家族を支える地域づくりの手引書  
「認知症の人と家族が安心して暮らせる地域」のイメージ
- ・推進体制づくり⇒地域ごとに「地域ケア会議」を開催し、地域住民や関係者が協働した地域づくりを推進する。

# A-4 基本情報(私の支援マップシート)

名前

記入日:20 年 月 日/記入者

◎私らしく暮らせるように支えてくれているなじみの人や物、動物、なじみの場所などを把握して、より良く暮らせるよう支援してください。

※家族は日常にかかわりのある人を記入しましょう。

(家族、親族の全体像はB-1に記入)

※施設で暮らしていても私が関わっている人、会いに来てくれる人、会いに行く人、私の支えとなっている物や場所も記入しましょう。

※記入者からみて連携がとれている人を線で結びましょう。

※誰からの情報かを明確にしましょう。

●私が言ったこと、△家族が言ったこと、

○ケア者が気づいたこと、ケアのヒントやアイデア

私にとってなじみの場所は です。

私が行きたい場所は です。

私にとってなじみの人は です。

私が見たい人は です。

私が一番頼りにしている人は です。

私が支えたい人は です。

## 認知症の人の 生活支援マップ



「認知症の人のためのケア  
マネジメントセンター方式」  
(認知症介護研究・研修 東京セ  
ンター)発行

なる担当者を教えてください。(例: デイサービス・田中)

※第3表(週間サービス計画表)を基盤に、介護保険サービス以外でも定期的に支えてくれているサービスや人を記入しましょう。

時間	月	火	水	木	金	土	日	私の願いや 支援してほしいこと ●私が言ったこと △家族が言ったこと ○ケア者が気づいたこと
4:00								<p>A-4シートを活用して 認知症の人、個々の生活支 援マップが作成され、チーム ケアの中で共有されています</p>
6:00								
8:00								
10:00								
12:00								
14:00								
16:00								

認知症の人と家族が安心して暮らせる地域

住み慣れた地域の「面的」な支援の仕組みにより...



- ✓地域が認知症を正しく理解
- ✓友人との交流・趣味・外出などの地域活動が継続可能
- ✓様々な地域資源を、必要に応じて利用可能

本人  
生活の継続性を維持

家族  
負担の軽減

地域の人的資源・社会資源のネットワークによる  
「面的」な支援の仕組み

地域支援の取組

地域資源マップ

- 医療機関や相談窓口等、様々な地域資源を掲載した情報集
- 作成・配布・活用の各段階で、顔の見える関係づくりを促進

徘徊SOSネットワーク

- 徘徊等による行方不明の発生時、即座に捜索情報をネットワーク参加者に配信
- ネットワーク参加者の目配り、声かけ等による早期発見

家族介護者の会

- 介護者同士が集い、介護体験や情報を共有
- 介護者の社会的居場所を創出
- 専門職との協働で、研修や相談会も実施可能

介護サービス事業者による地域活動

- 介護サービス事業者が地域の認知症ケアの拠点となり実施
- 専門知識・技術を生かして、地域に応じた取組を展開可能

その他、地域づくりに必要な取組

地域資源

行政

- 自治体(高齢主管課)
- 警察 ■ 消防
- 地域包括支援センター
- 保健所等の出先機関
- \* シルバー交番(仮称) ...etc



地域の住民・組織

- 認知症の人と家族
- 町内会 ■ 消防団
- 商店会 ■ 民生委員
- 地域活動を行うNPO法人
- 地域のボランティア
- 認知症サポーター ...etc

ネットワーク会議

- 地域の実情に応じた地域づくりを主導
- 幅広い分野の多様な人材から情報やアイデアを集約
- 地域資源同士の顔の見える関係を構築

介護・医療・福祉

- 介護サービス事業者
- 医療機関
- 一 かかりつけ医
- 一 認知症サポート医
- 一 専門医 一 地区医師会
- 地区社会福祉協議会 ...etc



その他の組織等

- 交通機関
- 広報媒体
- コンビニ薬局等の小売商店
- 配食・新聞配達等の宅配業
- 郵便・宅配便等の輸送業...etc



実施・参加  
支援

企画立案  
進行管理



# 介護保険制度と介護支援専門員 (ケアマネージャー)

介護保険制度は、介護が必要になった高齢者やそのご家族を社会全体で支えていく仕組みである。

介護支援専門員とは、介護保険制度で、要介護者又は要支援者からの相談に応じるとともに、要介護者等がその心身の状況等に応じ適切なサービスを利用できるよう、市町村、サービス事業者、施設などの連絡調整を行う人である。

(ワムネット「介護」用語集から)

# 介護保険の給付対象サービス

## ○居宅サービス

- ・訪問サービス、通所サービス
- ・短期入所サービス
- ・福祉用具と住宅改修に関するサービスと費用の支給等

## ○地域密着型サービス

- ・小規模多機能型介護
- ・夜間対応型共同生活介護(グループホーム)など

## ○施設サービス

- ・介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設

(認知症の初期集中支援サービスの事業に向けた基盤研究事業 事業報告書から)

## 障害者総合支援法

- 従来の障害者自立支援法が、「障害者総合支援法」となる。
- 目的規定において、「自立」という表現にかわり「基本的人権を享有する個人としての尊厳」と明記され、障害者総合支援法の目的の実現のため、障害福祉サービスによる支援に加えて、地域生活支援事業その他の必要な支援を総合的に行うこととなった。

## 成年後見制度

- ・高齢者の判断能力が低下している場合、権利侵害等を防ぐために成年後見等申し立てなど適切な対応を行うことが必要
- ・意思決定が困難な人が不利益を受けないように後見人などが援助する制度



# 認知症支援事業の概要（千葉県）

## 《主な取り組み》

- 普及・啓発
- 医療連携体制の整備
- 多職種協働による地域支援体制の構築支援

# 認知症支援事業の概要（市町村名）

《市町村での認知症支援事業内容を作成》

# その他の介護保険以外の インフォーマルサービスについて

- ・家族、親族、友人、知人
- ・民生委員
- ・自治会
- ・地域のボランティア
- ・認知症サポーター
- ・老人クラブ
- ・消防団
- ・商店会      など

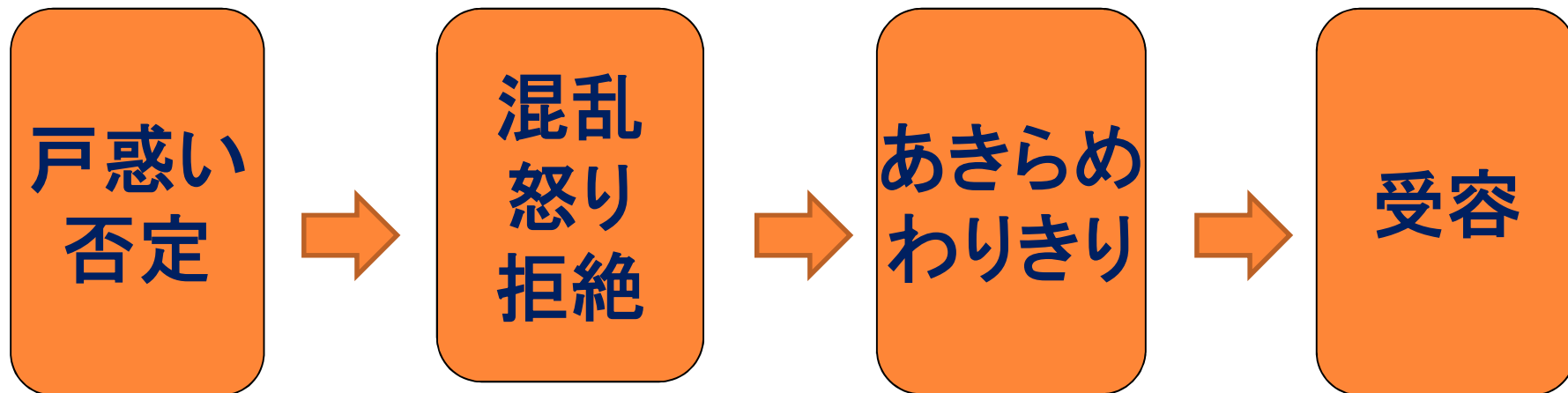
Chapter. **3**

# 家族支援と各職種の関わり

# 家族の思いを理解する

## 介護家族のたどる4つの心理的ステップ

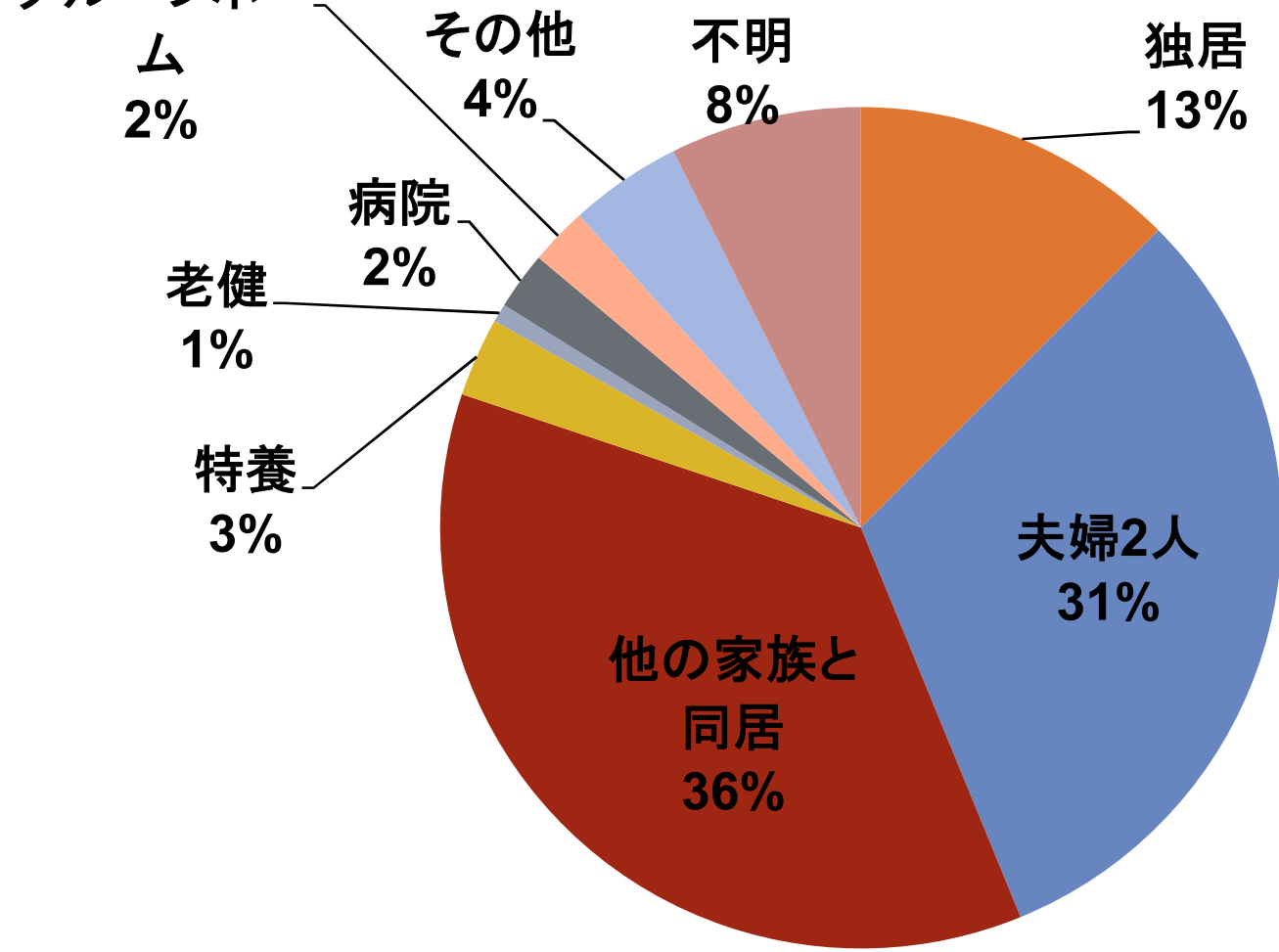
(杉山孝博先生)



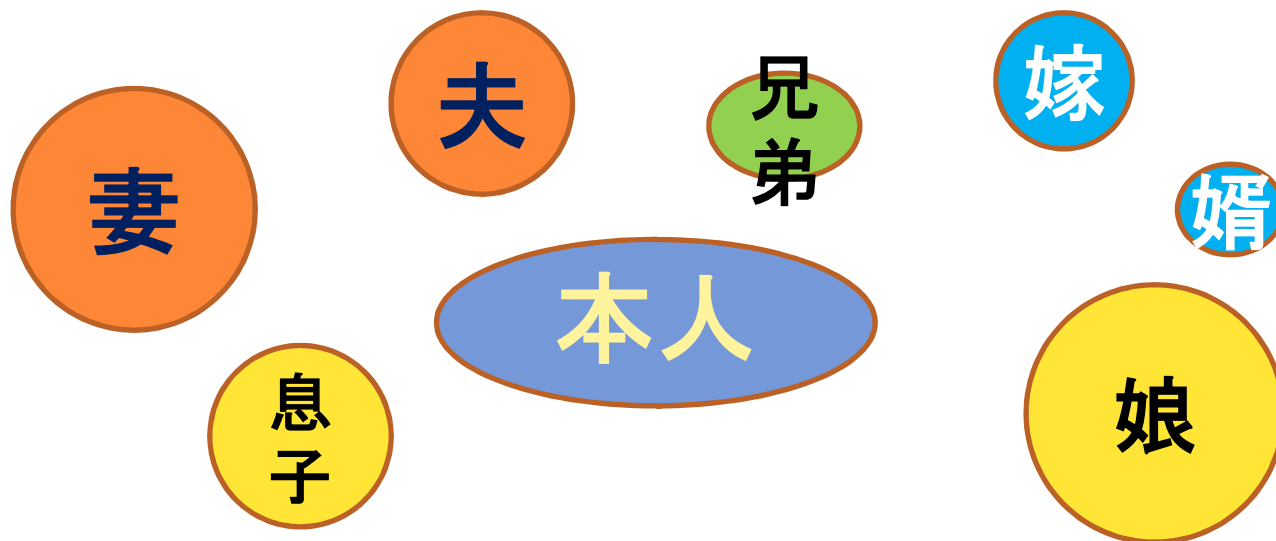
どの介護者も必ずたどる道で、第1ステップ、第2ステップと行きつ戻りつをしながら変化していくこともあるが、段階に応じた支援が必要。

# 対象者の生活状況

グループホーム (ベース: 介護関連の相談856件)



# 介護者の立場による思いの違い



- 夫や妻は、子供には迷惑かけたくない。  
自分がみなくてはその思う
- 娘や息子は、老老介護の両親が共倒れにならないようにと願う  
1人暮らしが心配→サービス利用したい

# 家族の思い

- ・本人の状態で一喜一憂
- ・思いだけでは出来ない介護
- ・介護を人にゆだねる後ろめたさ  
出来れば在宅を続けたかった  
私が介護していれば・・・
- ・本人に代わり決断を迫られる辛さ  
胃ろうの選択や延命

※ 介護者・家族を一体的に考える  
(本人の支援が家族の支援につながる)



# 仲間づくりの重要性

## 地域交流等の参加で仲間づくり

- 同じ思いの仲間として
- 身近な場所で
- いやしの場
- 情報と介護の知恵の交換
- 時には本人同伴で
- **初めの一步の後押しを**



# まとめ

生活支援をみんなで考えよう

- 生活の継続
- 本人の自立支援
- 地域特性
- 本人・家族の生活支援